

V. 高校 2 年生評価の実際

徳井輝雄

1. 学校全体の 4 つの柱の高校 2 年生への適用

全校共通の 4 つの観点

(高校 2 年での評価観点例)

I 知的関心の形成と問題解決能力

(課題を設定し探求し解決していく力)

II 体験・コミュニケーション能力

(他と協力する力)

III 創造的表現力

(発表・討論する力)

IV. 総合的思考力

(総合的思考力)

学んだ事を実際に働かせる力や自己評価力も含む)

2. 生徒の自己評価・相互評価の取入れ方

2-1 自己評価表の実際

○此の一年を振り返っての 1 句（俳句、短歌、川柳等）を書かせる

例 暗闇の アブチラガマで いま我は 幸せだな
と つくづく思う

人間科 一体なにを するのやら

沖縄と どっちが平和か 基地の中

人間科 空理空論 使えんなあ

向き合って 必死に調べた立論 とうとうと
なぜにそこまで 負かそうとするのか

琉球と大和の合間の 暗い海 浅くなる日は
いつに来るのか

○テーマ学習（1 学期）、ディベート（2 学期）、研究旅行（2 学期）について、評価できる点及び反省すべき点について書かせる。

例 （テーマ学習）

テーマについてだけでなく、広い視野を持つて今まで知らなかった多の事を知ることが出来た。（反省すべき点は）担当教官に頼りすぎの所があった。

殆どついていく努力をしなくて、いいことはなかったけど、言われてからは、すぐ近くの図書館で本を借りてきて調べました。一度グループの人の中に入り遅れちゃってからずっと怠けてしまって、いま考えると自分がすごく恥しい。

（ディベート）

相手の意表をつきかつその勢いをくじくようなポイントを発見した。（反省すべき点は）意志・方針の不徹底と一部の人による一極支配。

2 回もディベートがあったので準備が忙しかったが、新聞を読んだりして班の人たちと立論を考えた。（反省すべき点は）自分の班のことが精いっぱい、相手の班の話があまり聞けなかった。

（研究旅行）

旅行委員としての自覚を持って積極的に取り組み、力だけでなく頭も体も使った。自己満足の境地であるが敢闘できた。（各種原稿の）締切にルーズな点が否めない。時間的なバランス感覚が乏しく全体に致命的な影響を与えた。

事前準備も自分なりにやれたので、いろいろ質問して、沢山の事が分かったし、文化を守っていく大きさを改めて感じることが出来た。どこに行くか決める事に対してあまり相談できなかった。

○ この学習によってどの様な力がついたか、来年の 2 年生が取り組むときの改善点、一年間の授業全体の感想等について書かせる。

例 （この一年の授業全体の感想）～学年通信より～

生徒の自主性は評価に値するがなにもしなかった人がいることもまあ事実。

沖縄を意識したが一定期間にすぎなかったのは残念。

グループで学ぶことのむずかしさをした。昨年、個人で研究しているときは、グループで分担した方がやりやすいのではと思っていたけれどグループの方が難しいんだと言う事を知った。でも、一つの事に対するものの見方が人によって違うので、個人で学んでいるときより、人の意見を聞くことが出来てよい刺激になったと思うし、面白かった。

（昨年と比較して）「学ぶ」と言うことについて、毎日学校にきて授業を受けるだけが勉強じゃない。教科書からだけでなく本を読んだり話を聞いたり見たりしてそこから興味を持ち、学ぶことが出来るようになった。

2-2 相互評価の実際

○研究旅行時の研究グループでの相互評価をする。

○○さんへ××より

評価できる点・頑張った点 アドバイス等を書かせる

例 (或る班の班長の班員への評価)

ディベートでの資料として使うもの、全部書いてくれました。

有難う。

最後の集録、少し手伝って欲しかった。

頼りない班長ですみませんでした。

例 (上の例の相手の班員からの班長への評価)

いろいろな点でお世話になりました。すごく頑張ってくれて、感謝しています。

ご迷惑かけてすいませんでした (ママ)。

○クラス全体で頑張った者ベスト5をテーマ学習(1学期)、ディベート(2学期)、研究旅行(2学期)毎に選ばせる。

3. 教師の記述式評価の例

○沖縄学習では適切なテーマの設定とその探求方法を考える上で、グループに大いに貢献できました。

○ディベートでは、論点を筋道たてて整理する点で指導性を發揮しました。

○一旦取り組めば出来るのに、取り掛かるまでに時間がかかった。

4. 学年での話題

目だたない生徒の評価

グループ学習での個人の評価方法

評価を評定として表現することの妥当性

生徒の自己評価・相互評価の評定への生かし方

5. 学年末評定表

以下のような評定表を成績表に添付して渡す。

総合人間科(必修) 評定表 (1996年度)

名古屋大学教育学部附属高等学校2年

氏名

評価の観点

- 1 課題を設定し、解決していく力
- 2 発表・討論する力
- 3 他と協力する力
- 4 総合的思考力(自己評価力を含む)

テーマ学習	ディベート	沖縄グループ学習	総合
講評			